



## 2024年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年6月3日

上場会社名 ティーライフ株式会社  
コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西上 節也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 齋藤 正和  
四半期報告書提出予定日 2024年6月3日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 0547-46-3459

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期第3四半期の連結業績(2023年8月1日～2024年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	9,774	1.2	335	34.2	341	34.1	200	42.5
2023年7月期第3四半期	9,889	6.7	509	12.5	518	12.6	349	18.2

(注) 包括利益 2024年7月期第3四半期 212百万円 ( 38.4%) 2023年7月期第3四半期 345百万円 ( 22.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	47.16	
2023年7月期第3四半期	82.20	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期第3四半期	9,082	6,166	67.9	1,446.89
2023年7月期	8,567	6,168	72.0	1,449.06

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 6,166百万円 2023年7月期 6,168百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年7月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期		26.00		26.00	52.00
2024年7月期(予想)		26.00		20.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日～2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,645	1.4	622	24.3	625	26.0	380	36.5	89.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年7月期3Q	4,262,300 株	2023年7月期	4,257,200 株
期末自己株式数	2024年7月期3Q	180 株	2023年7月期	180 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年7月期3Q	4,259,979 株	2023年7月期3Q	4,253,982 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や、為替の影響、ウクライナやガザ地区における地政学的リスクの長期化や能登半島地震の影響、インフレの進行等により先行き不透明な状況が続いているものの、賃上げの継続傾向やインバウンド需要増等の要因により、消費行動に回復の動きが見られる状況にあります。

小売、卸売業界におきましても、人流の回復による店舗業績に回復傾向がみられるものの、継続するエネルギー価格や原材料価格高騰による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、当社グループは安定的かつ継続的な成長と企業価値の向上を目指し、「進化するウェルネス&ライフサポート企業」をビジョンとし、引き続き「Reborn! ver. 2」をスローガンとした中期経営計画の達成に向け、各事業の拡大及び利益確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、卸売事業、プロパティ事業は売上伸長したものの小売事業の減少分を補えず、9,774百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。損益面では、仕入価格や配送コストの上昇、海外展開への投資の影響から営業利益は335百万円（同34.2%減）、経常利益は341百万円（同34.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は200百万円（同42.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益又は損失については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

#### (卸売事業)

卸売事業は、店舗向け卸販売においては、暖冬の影響から季節商品の販売が伸び悩みましたが、テレビショッピングにおける健康・美容関連商品の販売が好調に伸長しました。

この結果、売上高は5,526百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は421百万円（同1.2%増）となりました。

#### (小売事業)

小売事業では、EC領域でLINE・SNSの活用を中心に販売促進を拡充するとともに、顧客開拓のクリエイティブの見直しに努めましたが、競争が激化しているECモールでの集客に苦戦しました。この結果売上高は3,554百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。また、仕入価格と配送費の上昇、海外への先行投資をおこなった結果、セグメント損失は224百万円（前年同四半期は32百万円のセグメント損失）となりました。

#### (プロパティ事業)

プロパティ事業では、袋井センター及び掛川センターが安定稼働し、名古屋センターでは3PL請負先の開拓に注力しました。この結果、売上高は693百万円（前年同四半期比0.7%増）、一方、3PL受託に係る作業量の増大に伴い運営コストは増加し、セグメント利益は132百万円（同8.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、9,082百万円(前連結会計年度末比514百万円増)となりました。

流動資産の増加(同449百万円増)は、主に現金及び預金が168百万円、棚卸資産が140百万円増加したことによるものであります。

固定資産の増加(同53百万円増)は、主に建物及び構築物(純額)が25百万円減少したものの、投資有価証券が41百万円、のれんが31百万円増加したことによるものであります。

繰延資産の増加(同11百万円増)は、創立費及び開業費を計上したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、2,915百万円(前連結会計年度末比516百万円増)となりました。

流動負債の増加(同162百万円増)は、主に未払法人税等が121百万円減少したものの、買掛金が300百万円増加したことによるものであります。

固定負債の増加(同354百万円増)は、主に長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,166百万円(前連結会計年度末比1百万円減)となり、この結果、自己資本比率は67.9%となりました。

純資産の減少は、主にその他有価証券評価差額金が11百万円増加したものの、配当金の支払いにより利益剰余金が20百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2024年3月4日に業績予想の修正を公表しております。詳細につきましては、同日公表の「業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,624	2,792
受取手形及び売掛金	1,098	1,173
有価証券	53	28
棚卸資産	792	932
その他	158	249
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	4,716	5,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	686	661
土地	2,429	2,429
その他(純額)	122	121
有形固定資産合計	3,238	3,212
無形固定資産		
のれん	174	206
その他	74	68
無形固定資産合計	248	274
投資その他の資産		
投資有価証券	129	171
その他	235	247
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	364	417
固定資産合計	3,851	3,904
繰延資産	—	11
資産合計	8,567	9,082

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	484	784
1年内返済予定の長期借入金	105	99
未払法人税等	173	52
賞与引当金	52	66
役員賞与引当金	14	0
その他	492	481
流動負債合計	1,323	1,485
固定負債		
長期借入金	558	944
退職給付に係る負債	82	83
資産除去債務	72	72
その他	362	330
固定負債合計	1,076	1,430
負債合計	2,399	2,915
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	361	364
資本剰余金	331	334
利益剰余金	5,451	5,430
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,143	6,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	36
為替換算調整勘定	-	0
その他の包括利益累計額合計	25	36
純資産合計	6,168	6,166
負債純資産合計	8,567	9,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	9,889	9,774
売上原価	6,467	6,459
売上総利益	3,422	3,314
販売費及び一般管理費	2,912	2,979
営業利益	509	335
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	0	0
為替差益	5	2
その他	5	6
営業外収益合計	13	11
営業外費用		
支払利息	1	1
リース解約損	1	—
創立費償却	—	1
その他	0	1
営業外費用合計	3	4
経常利益	518	341
特別利益		
固定資産売却益	—	3
補助金収入	19	—
保険解約返戻金	—	0
特別利益合計	19	4
税金等調整前四半期純利益	538	346
法人税等	188	145
四半期純利益	349	200
親会社株主に帰属する四半期純利益	349	200



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	349	200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	11
為替換算調整勘定	△4	0
その他の包括利益合計	△4	11
四半期包括利益	345	212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345	212
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	プロパティ 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	5,330	3,870	117	9,318	—	9,318
その他の収益(注) 3	—	—	570	570	—	570
外部顧客への売上高	5,330	3,870	688	9,889	—	9,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	8	203	214	△214	—
計	5,332	3,878	892	10,103	△214	9,889
セグメント利益又は損失(△)	416	△32	145	528	△19	509

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	プロパティ 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	5,526	3,554	232	9,313	—	9,313
その他の収益(注) 3	—	—	460	460	—	460
外部顧客への売上高	5,526	3,554	693	9,774	—	9,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	13	161	176	△176	—
計	5,528	3,567	854	9,950	△176	9,774
セグメント利益又は損失(△)	421	△224	132	328	6	335

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。